

令和2年度 授業改善推進プラン 5年

校内研究部

	児童の実態・課題分析	具体的な改善策	改善プランの評価
国語	<ul style="list-style-type: none"> 理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えることに課題がある。 登場人物の心情の変化や情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 伝えたい事柄をメモした後に、構成を考えるよう指導する。 登場人物の変容を捉えるための視点を与えたとともに、叙述をもとに考えを書くことを習慣付ける。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> 地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、社会的事象の特色について考えること、調べたことや考えたことを表現することが十分に定着していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的事象を列挙して、まとめること活動を繰り返し行っていく。 発表する相手や目的に応じて伝える方法を検討し、決定することができる。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> 数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表したり読み取ったりすることが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表・検討での話し合いを充実させることで、自他の考えを比較できるようにする。 既習事項を用いた算数的活動を通して、根拠を明らかにし、自分の考えをもてるようにする。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> 学習の過程において、自然の事象を比較したりすることが定着していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 違いの分かりやすい事象を提示することで、比較して考えることの良さを感じられるようにする。 	
生活			
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 音楽活動に意欲的に取り組む児童が多い。一方で、読譜や音楽記号の把握など、知識・理解に関する指導を充実させる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 音符や休符の再確認→リズム譜読み→読譜というように、段階的な指導を行うことで音楽的な知識・理解を深める。 	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 図工に興味を持ち意欲的に取り組む児童が多い。筆使い、絵の輪郭線などが思ったように描けない児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 見本や資料を活用し、自分のイメージに合った絵を描けるようにする。筆使いや絵の具の使い方などの図工の基礎を繰り返し指導していく。その中で自らの表現力を高める力を育てる。 	
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 裁縫において、技能を難しく感じている児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 実物を活用したり、黒板に手順を簡潔に示すことで、児童が確認しながら学習できるようにする。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> ルールを工夫したり、チームで協力して活動したりすることは概ねできている。一方で、自己の課題に気付いたり、課題解決の練習方法を考えることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 互いに見合ったり、アドバイスをする時間を確保することで、自己の課題に気付けるようにする。 学習カードに課題別の練習方法を記載するなど、児童が自己に合った練習方法を選択できるようにする。 	
外国語	<ul style="list-style-type: none"> 英語に慣れ親しむことができていない児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語の歌や教師のスピーチの時間を十分に確保し、英語の音声に親しむことができるようにする。 	